

# 山岳部通信 No.40

山岳部の紹介と活動状況をお知らせしていきます。  
山岳部通信を大分さぼってしまい、楽しみにしていた皆様には申し訳ありませんでした。  
夏合宿以降に行いました活動をまとめて秋季活動としてご報告いたします。



まず、10月4日～6日に行われた安全登山技術講習に参加をしました。  
例年通り神奈川県丹沢山系にて実施され、1年生対象の基礎講座と2年生対象の実践講座で実施されました。



基礎講座ではロープワーク、ビバーク・搬送、渡渉、読図実践など危機回避における基本的技術の講習が行われました。実践講座では、実際に山中に分け入りといっても登山道ですが、登山道と作業道、巻き道や現在位置の確認ルートの設定など、リーダーとしての実践的な講習が行われました。

続いて、11月1日～3日には新人登山大会に参加をしました。  
群馬県は北毛青少年自然の家のキャンプ場を幕営地として小野子山、十二ヶ岳を登山ルートとして小雨の降る中での大会でした。



前日の降雨の状況や気象情報から、出発時間を30分早め、コースについても2/3へと短縮し実施されました。

11月11日にはボルダリング大会が行われましたが、本校の練習環境の変化、選手の実力を勘案して参加を見送りました。

そして先日の期末考査明けの12月13日～14日（1泊2日）で校内合宿を行いました。



この合宿は冬季山行（体験）の一助として行い、1年間使用してきた備品のチェックや、出来るだけ備品を長く使えるようにメンテナンスについても自らが経験値を高める合宿です。



したがってもちろんテント普段はバーナーを使用しての炊事をするのも目的として



鉈(斧)安全な使わずを使ライターではなくマッチでの火付け、そして「火」の管理など普段の山行では行うことの無い体験をしました。



泊、そして炊事ですが、この合宿では薪でいます。やナイフの使用方法、紙用せず、ライターではなくマッチでの火付け、そして「火」の管理など普段の山行では行うことの無い体験をしました。

